



市長提出議案	予算	補正予算	平成24年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ1,698万3千円を追加し総額42億1,295万2千円とする。徴収事務費63万1千円、支払基金交付金返還金172万6千円、地域支援事業支払基金交付金返還金95万8千円を増額、財政安定化基金借入金償還金1,366万8千円を計上。	可決
			平成24年度阿賀野市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ328万4千円を追加し総額28億2,336万3千円とする。旧曾郷污水处理場のフェンス修繕料82万5千円、県道改良工事に伴うマンホールポンプ制御盤移設工事費236万3千円、用地購入費9万6千円を増額。	可決
			平成24年度阿賀野市水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収支の収入を34万2千円増額し総額11億6,867万7千円とし、支出を197万円減額し総額11億2,851万5千円とする。放射性物質を含む浄水発生土の保管施設建設に係る設計委託料160万円等を増額し、人事異動等に伴う人件費の変動分366万8千円等を減額。資本的収支の収入を370万円増額し総額4億866万円とし、支出を27万7千円減額し総額9億4,656万7千円とする。人件費及び水道施設整備事業費（第4期）に係る工事請負費の増減により建設改良費を減額。	可決
			平成24年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第2号） 収益的支出を160万7千円増額し総額5億7,135万4千円とする。第三者による指定管理業務実施状況の点検・評価業務委託料157万5千円、一般会計への返還金3万2千円を増額。資本的支出を1,472万6千円増額し総額4億5,830万9千円とする。新病院整備事業委託料157万5千円減額、一般会計への返還金13万8千円、消費税及び地方消費税の確定申告による還付金による一般会計への返還金1,616万3千円を増額。	可決
	条例	一部改正	阿賀野市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について これまで法律又は政令で定められていた道路の構造の技術的基準等の各種基準を地方公共団体の条例で定めることとなったことに伴い制定する。	可決
			阿賀野市防災会議条例の一部改正について 男女共同参画社会推進の視点から、阿賀野市防災会議委員に女性の登用を図るため所要の改正を行う。	可決
			阿賀野市公民館条例の一部改正について 安田公民館の談話室を新たに貸出し施設とするため、当該施設の使用料及び実費徴収金に関する規定を加える。	可決
			阿賀野市下水道審議会条例の一部改正について 下水道の整備が進んだことによって、下水道審議会委員任命要件が現状と合わなくなったため、所要の改正を行う。	可決
			阿賀野市火災予防条例の一部改正について 電気自動車用の急速充電設備を設置する際の位置、構造及び管理に関する基準を新たに加える。	可決
	廃止	阿賀野市大豆乾燥調製施設の設置及び管理に関する条例の廃止について 阿賀野市農機具格納庫等の設置及び管理に関する条例の廃止について 施設の管理運営の効率化を図るため、平成24年10月1日に現在の指定管理者であるささかみ農業協同組合に譲与することに伴い廃止する。	可決	
		その他	不動産の譲与について（阿賀野市大豆乾燥調製施設） 不動産の譲与について（阿賀野市農機具格納庫） 平成24年10月1日に現在の指定管理者であるささかみ農業協同組合に無償譲渡する。	可決
	市道路線の認定について 市野山地内及び寺社地内の開発区域内の道路を新たに認定する。		可決	
	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 外国人登録原票が閉鎖されることに伴い、規約中の「外国人登録原票」の表記を削除する。		可決	
	相互救済事業の委託について（財団法人全国自治協会） 毎年度予算で定める経費を支弁して、その所有又は占有に関する財産で必要なものの災害による損害に対する相互救済事業（公有物件災害共済）を財団法人全国自治協会に委託するにあたり、議会の議決を求める。		可決	
	相互救済事業の委託について（全国町村会） 毎年度予算で定める経費を支弁して、その所有又は占有に関する財産で必要なものの災害による損害に対する相互救済事業（総合賠償保険）を全国町村会に委託するにあたり、議会の議決を求める。		可決	
	工事請負契約の変更について 水原中学校屋体建築工事について、支持層の深さに相違があったため杭の一部（53本）を約10m長くする必要が生じたことにより、2,032万2,750円を増額し、契約金額を6億3,667万2,750円に変更する。		可決	
	請願	下水道整備に伴う一般廃棄物収集運搬業務減少に対する対策救済についての請願 一般廃棄物処理業等についての合理化事業計画策定のための基本合意である協定書づくりの話し合いを開始してほしい。	採択	
		「私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願 私学助成制度を拡充し、学費の公私間格差是正をすすめる等を求める意見書を提出してほしい。	採択	
		「教育費無償化」の前進をもとめる請願 高校無償化の維持・拡充を進めるとともに、高校生・大学生に対する「給付制奨学金」制度の創設等教育費無償化の前進を国にもとめる意見書を提出してほしい。	採択	
		「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願 国の責任ですべての小・中学校、高校で30人学級を実現し、新たな教職員定数改善計画により教職員を増やすことをもとめる意見書を提出してほしい。	採択	
委員会提出議案	条例	一部改正 阿賀野市議会委員会条例の一部改正について 議員定数が20人となることに伴い、常任委員会のうち社会厚生常任委員会及び産業建設常任委員会の定数をそれぞれ7人から6人に改正する。	可決	
		意見書	私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について 私立高校生が学費を心配せず学べるように、私学助成の増額・拡充を求める意見書を国会、政府及び新潟県知事に提出する。	可決
	「教育費無償化」の前進をもとめる意見書の提出について 「教育費無償化」の前進を求める意見書を国会並びに政府に提出する。		可決	
	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書の提出について 「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書を国会並びに政府に提出する。		可決	
	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを求める意見書を国会並びに政府に提出する。	可決		